

## 世界と日本をつなぐ教育実践の共有

### ～JICA 海外協力隊の経験を活かした先生たちの取組み～

2019年12月22日(日)、JICA(国際協力機構)海外協力隊経験者の教員で組織される「全国OV教員・教育研究会」とJICAによるシンポジウムがJICA 関西において開催されます。

現職教員の身分を保持したまま、青年海外協力隊や日系社会青年協力隊等の「JICA 海外協力隊」に参加できる「現職教員特別参加制度」は今年で18年目を迎え、のべ1,400名を越える教員が途上国へ派遣されました。帰国した教員(以下、OV教員)は現地での経験を日本の教育現場に還元すべく様々な取組みを行っています。OV教員の取組みを他の教員や各教育委員会、教員を目指す学生、広く教育関係者と共有し、国際理解教育や開発教育の推進、また、現職教員のJICA 海外協力隊事業への参加を促進すべく、関係者への理解促進を目的としたシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは「途上国の経験をSDGs時代の日本の教育に活かす」をテーマに、持続可能な開発のための教育(ESD)に関する関連プログラムの開発・運営・研究などに関わる東京都市大学環境学部の佐藤真久教授の講演をはじめ、国際理解教育やESDの校内普及をめざすOV教員による実践発表をします。また、2020年度新規派遣隊員向けの事前研修として、派遣地域や職種ごとの活動の様子について、意見交換会を行います。外国人児童生徒の増加地域における国際交流の推進等、教員のグローバル化が求められる今、本シンポジウムに参加する教員の活躍は教育現場において重要と考えられます。ぜひ、取材・報道をご検討ください。

名 称 : 第三回全国OV教員・教育研究シンポジウム

～途上国経験をSDGs時代の日本の教育に活かす～

実施日時: 2019年12月22日(日) 10:00～16:40

実施場所: JICA関西(神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2)

主 催 : 全国OV教員・教育研究会、独立行政法人国際協力機構(JICA)

後 援 : 文部科学省、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、近畿地方ESD活動支援センター、

兵庫県海外子女教育・国際理解教育研究会、青年海外協力隊兵庫県OB会、兵庫県OV教員研究会

プログラムの詳細はこちら→ [https://www.jica.go.jp/kansai/event/2019/191206\\_01.html](https://www.jica.go.jp/kansai/event/2019/191206_01.html)

**【本件に関する問い合わせ先】**

JICA 青年海外協力隊事務局人材育成課 鷹觜 悠史

Tel: 03-5226-9323 E-mail: jvthd@jica.go.jp

(当日のお問い合わせ先)

JICA 関西 市民参加協力課 山内章代 Tel:078-261-0341(代表)